堺市

『児童発達支援自己点検及び評価シート』

作　成　日：2023年５月３０日
事 業 所 名：Plus＋days 堺校

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
１ 環境・体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	活動内容で部屋を分けている。
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	職員は法令にそ沿って配置している。 サポートリーダーの配置はないが、今後進めていきたい。
	③送迎体制・添乗員の確保	送迎には極力添乗をつけている。
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	動物のイラストを用いて部屋を分けている。
	⑤職員の健康診断の実施	社員は年１回会社負担で実施。
２ 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	事業所評価によって実施。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 （障害児通所支援事業者育成事業利用の有無）	虐待防止研修は年２回行なっている。
	③虐待防止等のための責任者を設置	管理者が責任者となり、契約書にも明記。
	④利用児、保護者からの苦情や意見への対応及び事業運営への反映	手順について重要事項説明書に記載の上、契約時に保護者と確認する。それに沿って都度対応している。
３ 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による児童発達支援計画の作成 （アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	契約前の聞き取りに加えて、契約時に改めてアセスメントと意向を確認。アセスメントは用紙にも記入いただく。 それに沿って計画案を作成し交付している。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	面談の実施や、送迎時・電話等での聞き取りにより意向を確認。それに沿って計画案を作成交付している。

	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	個別支援計画や保護者・利用者のニーズをもとに個々の課題を定めたうえで、担当する職員がそれに沿ったプログラムを考えて行なっている。
	④ミーティング等の実施	ミーティングを実施。参加できないスタッフにノートを使って共有している。
	⑤支援内容の記録	使用した教材にその日の様子を記録している。
４ 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	随時行っている。
	②認定こども園・幼稚園・保育園、保健センター等との連携	利用開始時に送迎方法の確認などを行っている。 利用時には送迎の際に様子のお伝えをしている。
	③他の児童発達支援事業所、児童発達支援センター、障害福祉サービス事業所等との連携	今後積極的に連携を図っていきたい。
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医や協力医療機関等との連携・連絡体制	※該当児童なし
	⑤就学する際の移行支援（学校との引継ぎ・情報共有等）	保護者を通じて行っている。
	⑥「あい・ふぁいる」の活用	今後積極的に活用していきたい。
	①事業所で実施している支援（支援内容、プログラムなどを記載してください。）	机上課題 運動遊び 日常生活動作の練習

５　保護者への説明責任等	②運営規程、支援内容、利用者負担の説明	契約時用意した書類をもとに口頭でも説明。
	③保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	スタッフで共有し相談後、適宜対応している。
	④会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	月１回会報を発行している。 SNS を利用し活動内容の発信をしている。
	⑤日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	連絡帳への記載に加えて、送迎時や電話でお伝えしている。
	⑥おやつ代等実費徴収している費用に係る領収書の発行、精算報告	口座引き落とし前に書面に徴収内容をお知らせし、領収書は銀行口座の印字をもって確認いただくことにしている。
	⑦身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	※該当児童なし
	⑧個人情報の適切な取扱い	契約時に保護者へ説明し同意を得たうえで、定められた範囲内での個人情報の使用を行っている。
６　非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の整備と職員、保護者への周知	保護者への周知はさらに工夫して行っていきたい
	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	避難訓練は年２回行なっている。
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	ヒヤリハット報告書の記入があった際はスタッフで回覧共有している。

	④サービス提供中の事故を防ぐための取組等	ヒヤリハット報告書の提出から早急に人的・物的環境を見直し再発防止に努める。
	⑤感染症対策の実施	毎日消毒を行っている。 空気清浄機の使用や窓を開けて換気をしている。
7 その他	①地域との交流	今後積極的に取り組んでいきたい。